



尼北コミ通



尼崎北小学校コミュニティ・スクール通信 No.21 R5.11.10 (文責：高原)

学校地域連携避難訓練を実施しました

11月9日、学校地域連携避難訓練を実施しました。当日は、暑いぐらいの良いお天気に恵まれました。

この訓練は、学校と地域と合同で実施することにより防災意識を高めることと災害時に学校が果たす役割や機能について理解することを目的に、学校と学校運営協議会で実施しました。

まず、13時に震度7の地震発生を想定し、地域の皆様にご自宅から徒歩で体育館に避難していただきました。体育館では、訓練の第一部として、立花地域課の金谷様による防災学習を行いました。防災学習では、災害時に備えて家庭で準備しておくといよいものや学校にいるときに災害がおこり帰宅できなくなった児童への備蓄品が紹介されました。また、学校に備えられている「簡易テント」や「防災ベッド」など避難所配備物資の紹介とそれを参加者のみなさんで組み立てて、使用してみる体験を行いました。訓練に参加されたみなさんで、積極的にテントやベッドなどを組み立てて、どんな時に使用できるか考えたり、どれぐらい丈夫なのかなど体感されたりしていました。次に、第2部として、地域の皆さんと子どもたちで避難訓練を行いました。校内の地震発生の知らせと避難の指示に、子どもたちは校舎から地域の皆さんは体育館から、運動場へ避難をしました。子どもたちは、迅速に運動場へ避難し、次の指示を待っていました。また、先生は、子どもたちと校舎の安全確認を迅速に終え、教頭先生に報告をしました。その後、児童会の子どもたちによる防災クイズをみんなで行き、災害時にどうしたらよいのか考えることができました。

この訓練には、立花地域課、災害対策課、社会教育課、関西学院大学社会学部関ゼミのみなさんにご支援をいただきました。また、訓練の計画・運営を、学校運営協議会と学校地域連携協働本部のみなさんにご尽力いただきました。そして、多数の地域のみなさんに訓練にご参加いただきました。みなさま、ありがとうございました。

初めての試みで、ご不便をおかけしたこともあるかと思えます。この訓練を通して、学んだことを次に生かし、災害時に備えられるようにして参ります。



南門前に、提示されているように、本校は、指定避難所となっています。また、災害時に水を配布する応急給水拠点となっています。右の写真は、体育館での防災学習の様子です。右上のテントは、2張り学校に配備されています。右下は、家庭で準備しておくといよい災害備蓄品です。